

三重県南部の地域経済

～伊勢地域から東紀州地域への観光誘客を
通じた地方創生の実現に向けて～

愛知学院大学 経済学部経済学科 近藤智ゼミ

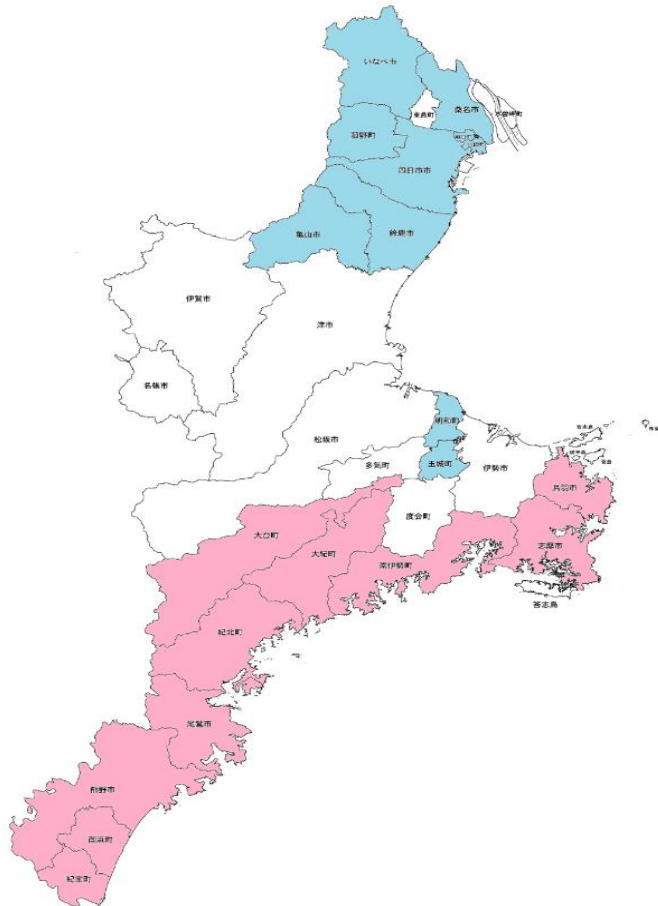
井上裕也 田宮雄平 二田水光
林直輝 水越智哉 村内大輝

全体の構成

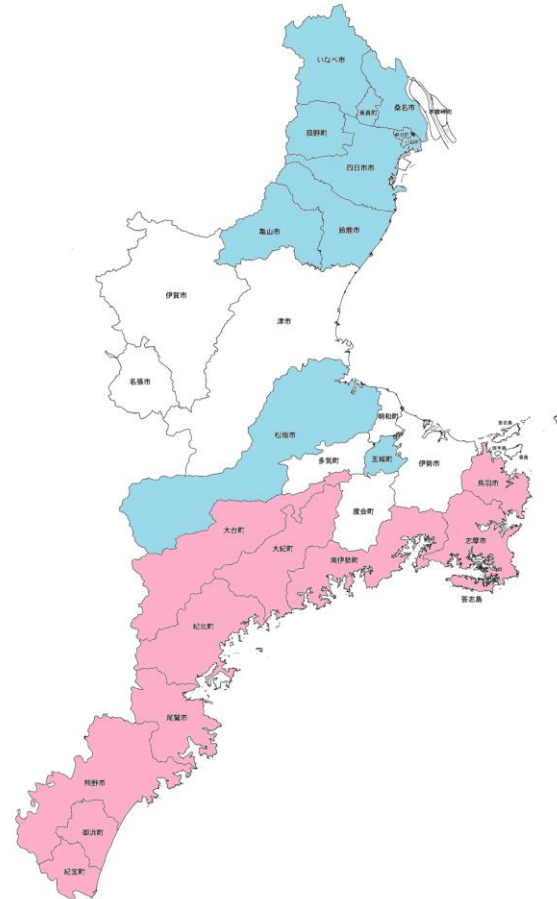
1. 研究の動機
2. アンケート調査の概要
3. アンケートの集計結果
4. まとめ

三重県の南北格差①

人口の増減率(2005~2015)



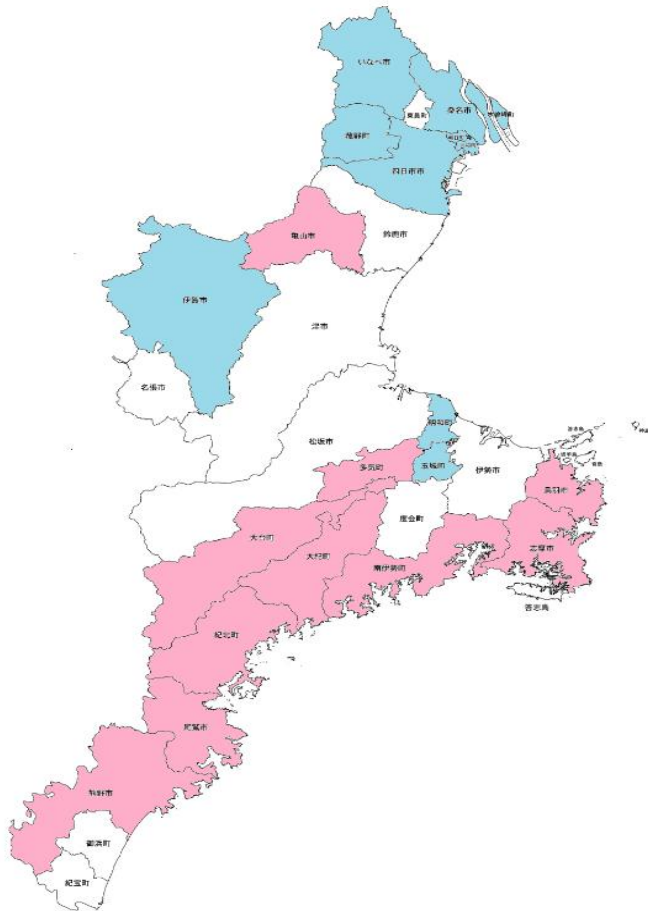
高齢化率(2005~2015)



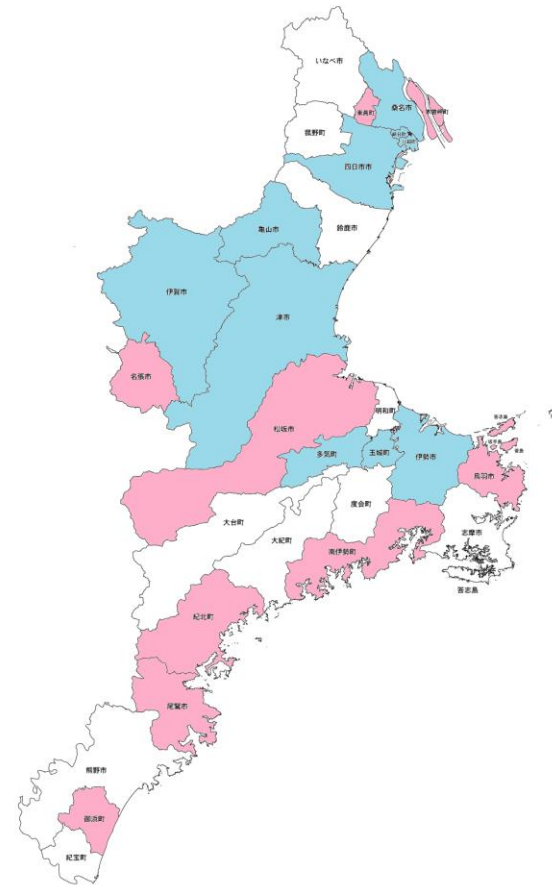
青:上位10市町
赤:下位10市町

三重県の南北格差②

市町民所得の変化率(2006~2015)

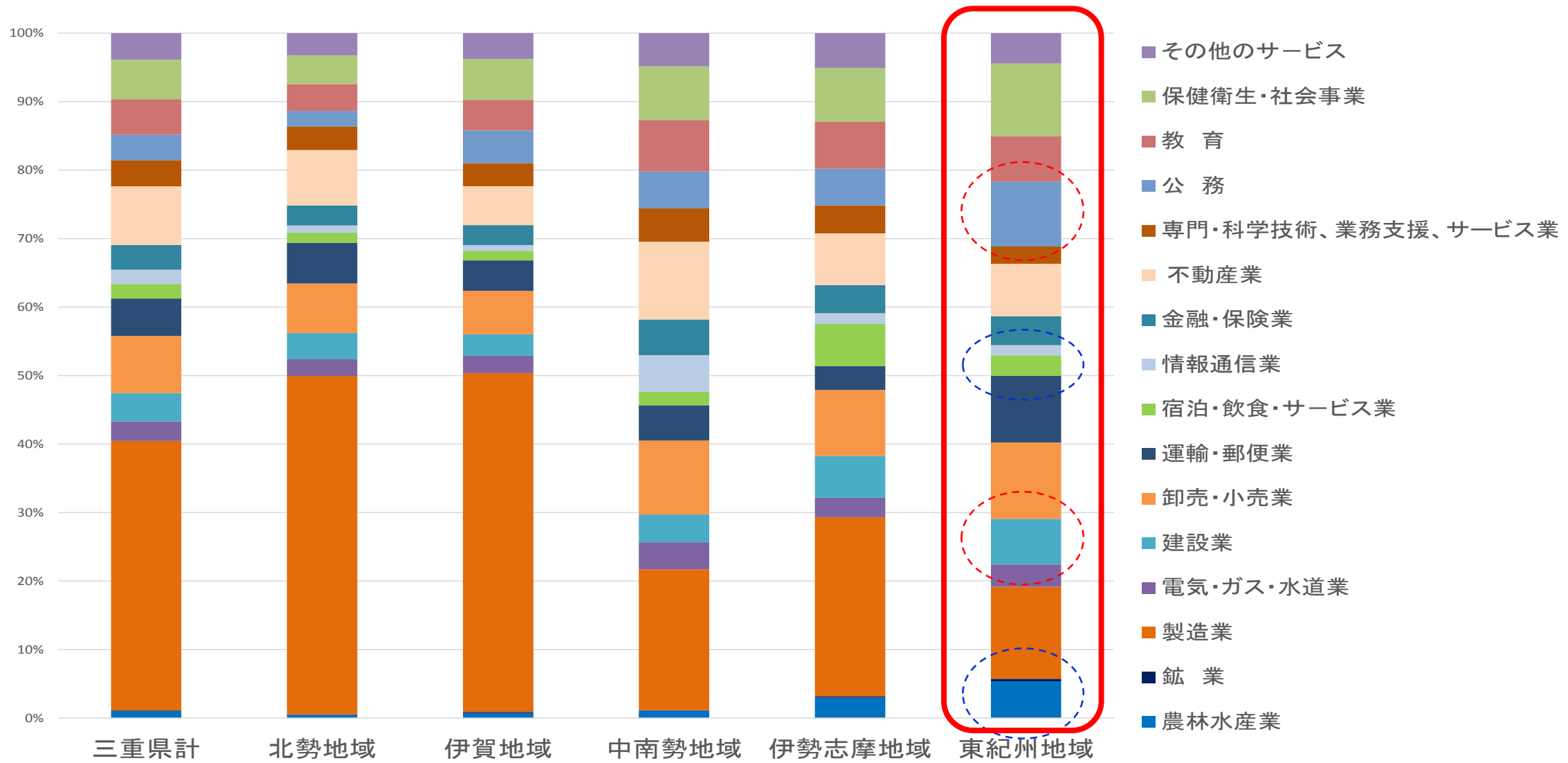


住宅地平均公示地価の変化率
(2005~2015)



青:上位10市町
赤:下位10市町

県内各地域の産業構造(2015)



(出所)三重県「経済活動別市町内総生産<生産>」『三重県の市町民経済計算』
「<http://www.pref.mie.lg.jp/DATABOX/37310002734.htm>」より作成

東紀州地域の概要と近年の出来事

＜東紀州地域の概要＞

東紀州地域とは、三重県南部に位置する2市3町(尾鷲市, 熊野市, 紀北町, 御浜町, 紀宝町)からなる地域をさす。

＜近年の出来事＞

2004年7月

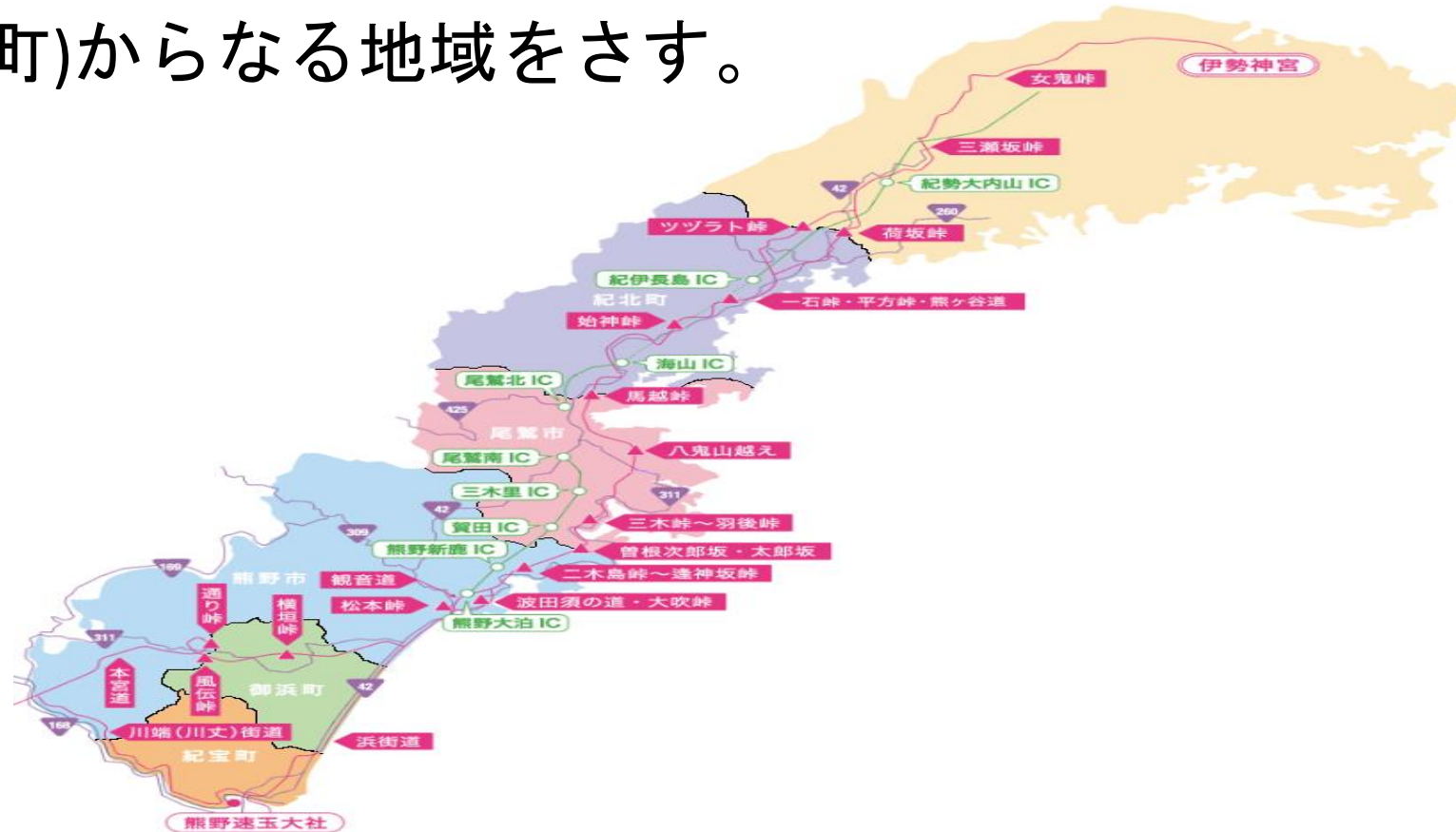
- 熊野古道世界遺産登録

2012年3月

- 紀勢道尾鷲北ICまで開通

2014年3月

- 紀勢道全線開通



(画像引用)熊野古道伊勢路幸結びの路「http://www.kumanokodo-iseji.jp/iseji_root/」

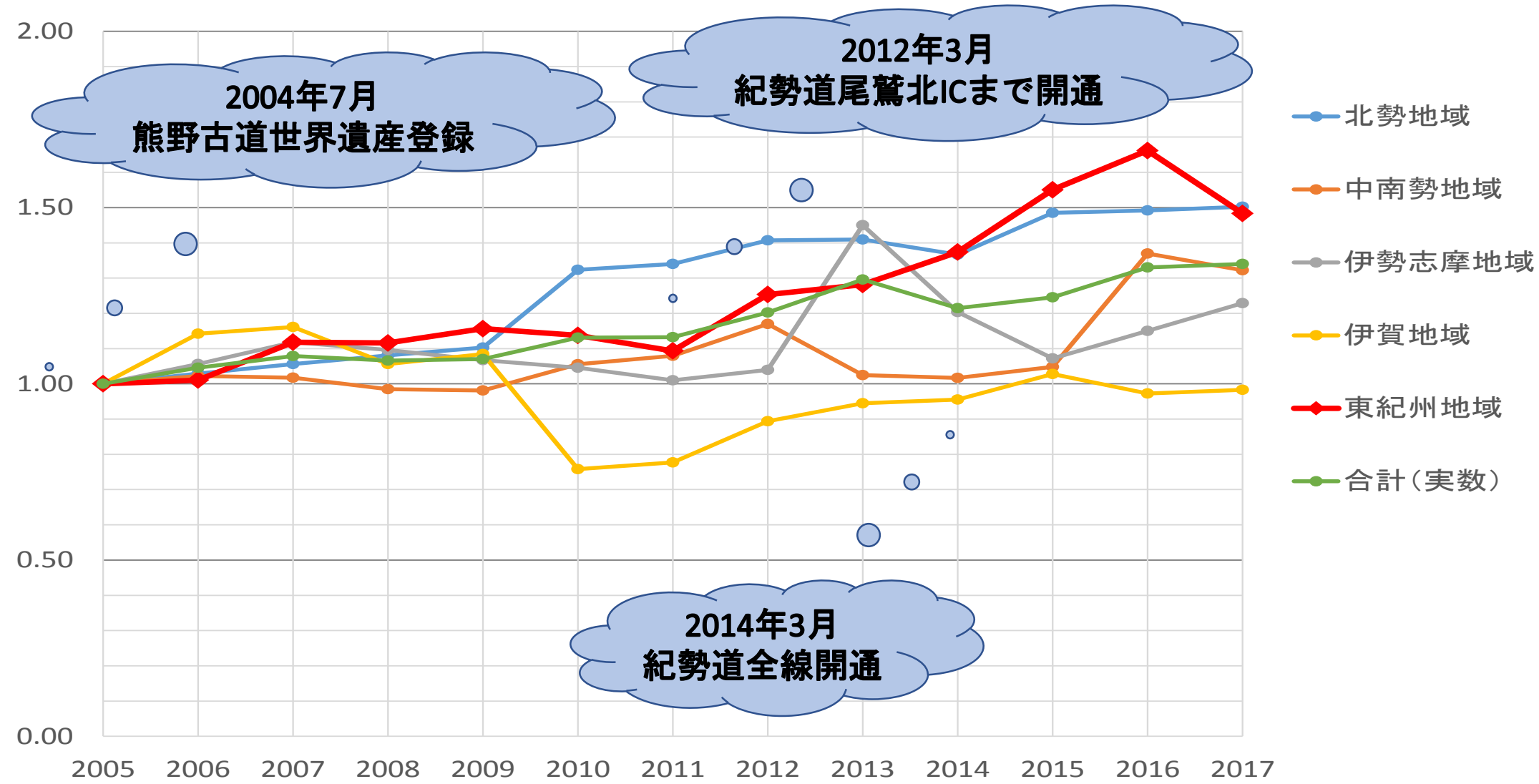
東紀州地域 高速道路整備効果

紀勢自動車道が2014年3月に全線開通したことによる
様々なストック効果や地域の変化のまとめ

- 観光入込客数→**高速道路未整備時より約1.6倍**
- 夏期の日帰り観光客による消費額→**約8億円増加**
- 愛知県や関東方面からの花火大会来場者→**約1.3倍**
- ツアーバスの立寄り台数(花の窟)→**約1.4倍**
- 尾鷲地域新規求人数(平成23から平成27年)→**約1.6倍**

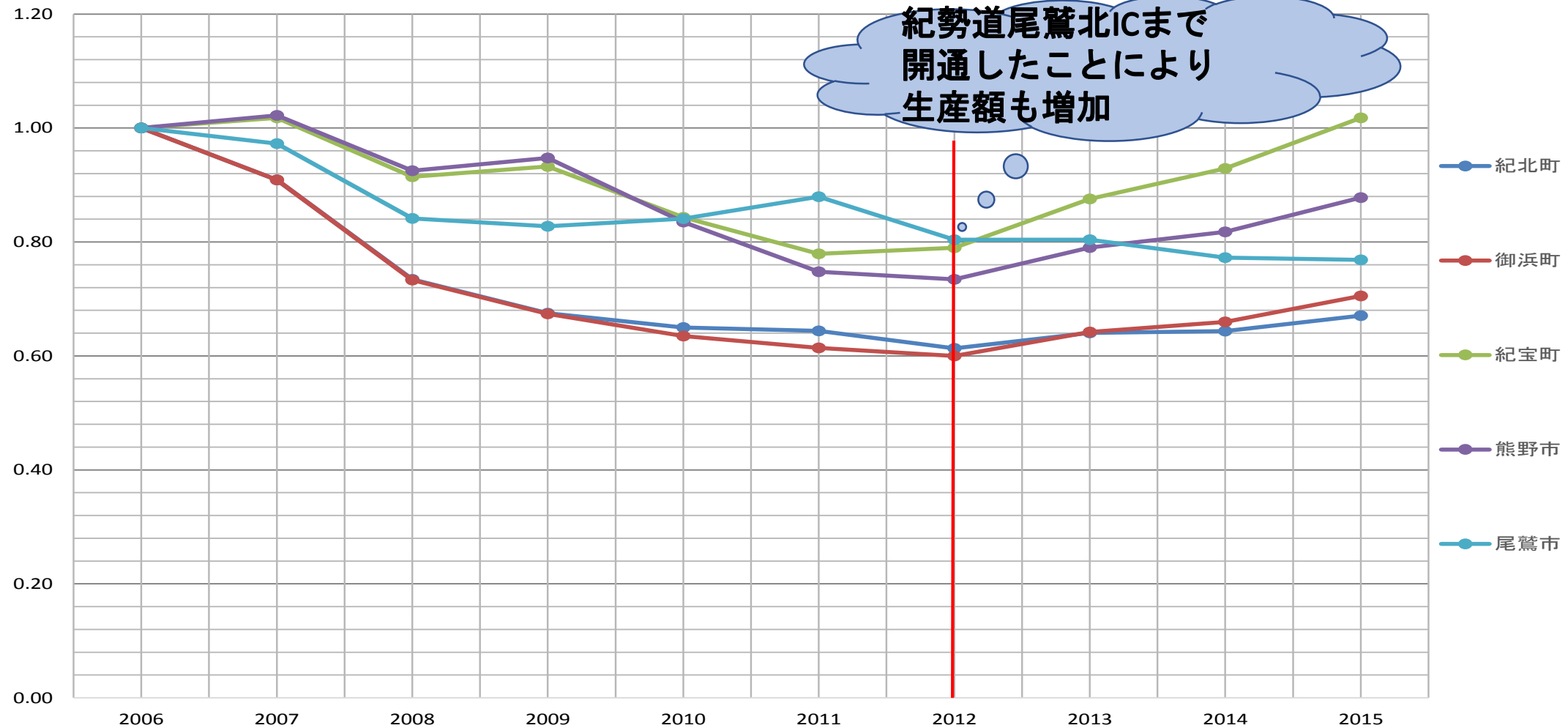
(出所)東紀州地域高速道路整備効果検討会『北勢自動車道・熊野尾鷲道路のストック効果』
「<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisei/news/assets/pdf/press/161101.pdf>」より作成

県内各地域の観光客数の推移



(出所)『三重県地域別入込客数(実数)の推移』
「<http://www.pref.mie.lg.jp/D1KANKO/84074013374.htm>」より作成

東紀州地域 市町別 宿泊・飲食・サービス業の総生産



(出所)三重県「経済活動別市町内総生産＜生産＞」『三重県の市町民経済計算』
「<http://www.pref.mie.lg.jp/DATABOX/37310002734.htm>」より作成

東紀州地域での観光政策

＜地方創生加速化交付金事業＞(三重県,尾鷲市,熊野市,紀北町,御浜町,紀宝町)

- ・インバウンド対応魅力発信事業
- ・「世界遺産」「地域産業」を活用した観光DMO推進事業 など

＜事業内容＞

→国内はもとより外国人観光客を誘客

→訪日外国人旅行者向けの情報発信、訪日外国人旅行者の受入れ環境整備

→伊勢志摩・東紀州立ち寄り率の増加 など

(数値目標)				
	事業開始前 (現時点)	平成29年度増加分 (1年目)	平成30年度増加分 (2年目)	平成31年度増加分 (3年目)
東紀州地域における観光消費額 (百万円)	46,423	100	100	100
地域別観光入込客数(千人)	1,811	39	40	50
伊勢志摩・東紀州立ち寄り率・伊勢 志摩→東紀州[ヶ所]	5.10	0.11	0.10	0.20

(出所) 『地域再生計画』 <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/tiikisaisei/dai43-2nintei/plan/a424.pdf>
『地方創生加速化交付金事業実績平成28年度実績及び紀北町地方創生会議委員の意見』
http://www.town.mie-kihoku.lg.jp/hpdata/_images/Media/gyosei/information/souseisenkoujisseki/souseisenkoujisseki28.pdf

東紀州地域へ観光客を増加させるために

伊勢市から東紀州地域へ訪れる観光客が増加すれば、更なる経済効果が見込める。
また、観光業を中心とした産業が確立できれば三重県内に広がる南北格差も縮めることが可能となる。
しかし、それらを実現させるための具体的な政策がない。
そこで、私達はアンケートを通じて、伊勢市から東紀州地域への効果的な誘客方法を検討すべきと考える。

県内 主な市町別入込客(延数)												
	桑名市	鈴鹿市	菰野町	津市	松阪市	伊勢市	鳥羽市	志摩市	伊賀市	名張市	熊野市	紀北町
2017	18,411,648	4,827,994	2,304,425	4,145,416	2,317,774	19,231,033	4,244,632	4,041,742	2,355,066	1,225,705	1,056,000	1,714,146
2016	18,100,923	4,723,425	2,313,944	4,220,241	2,347,917	18,268,240	4,441,441	3,869,148	2,345,772	1,265,853	1,110,013	2,140,386
2015	18,093,822	4,734,392	2,379,063	2,728,553	2,419,186	17,719,709	4,573,102	3,727,852	2,569,316	1,294,073	1,089,531	1,923,631



アンケート調査概要

＜実施日＞

- 2018年11月29日(木)

＜回答者数＞

- 57名

＜実施場所＞

- 宇治浦田観光案内所/伊勢市

＜調査内容＞

- 東紀州地域の観光に対する認知度調査
- 伊勢市への観光客はなぜ東紀州地域に立ち寄らないのか
- 伊勢市への観光客は東紀州地域へ観光してみたいか など

アンケート調査にご協力いただいた皆様と宇治浦田観光案内所、伊勢市役所の方々に感謝の意を表します。

仮説

潜在的にはもっと東紀州地域に観光客が来てもいいはずだが現状あまりきていない。

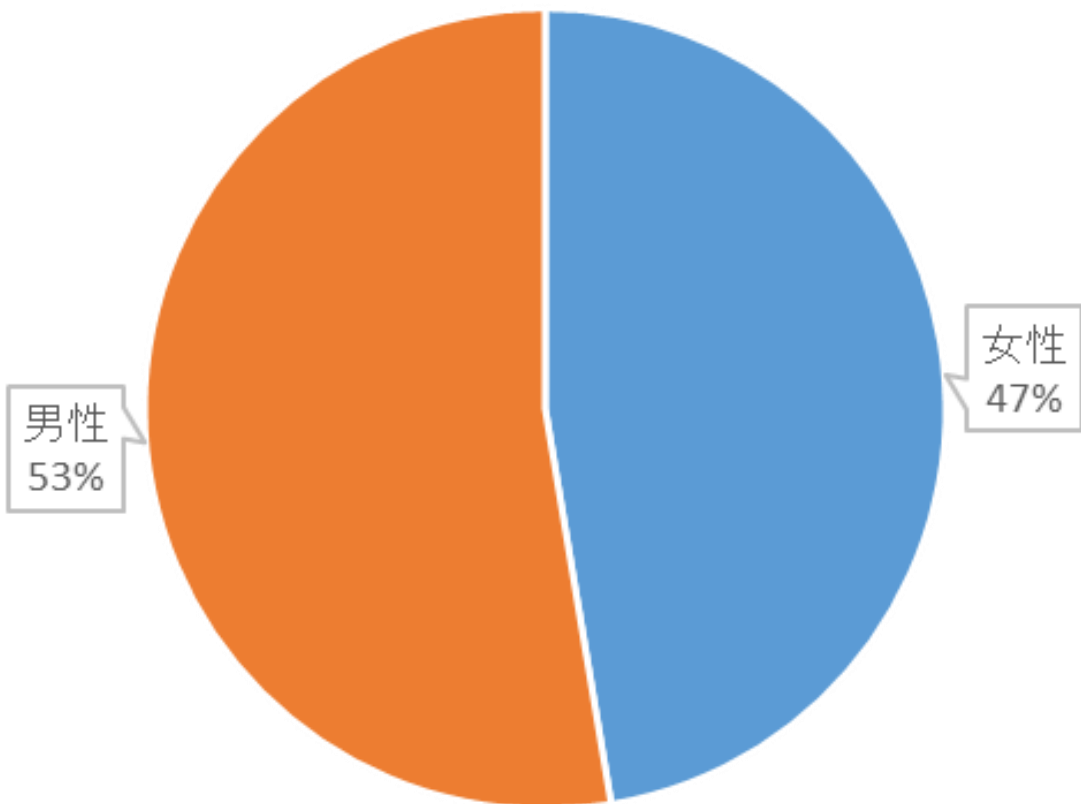
なぜか。

- 認知度が足りない。
- そもそも何があるか知らない。
- 日帰りができない。

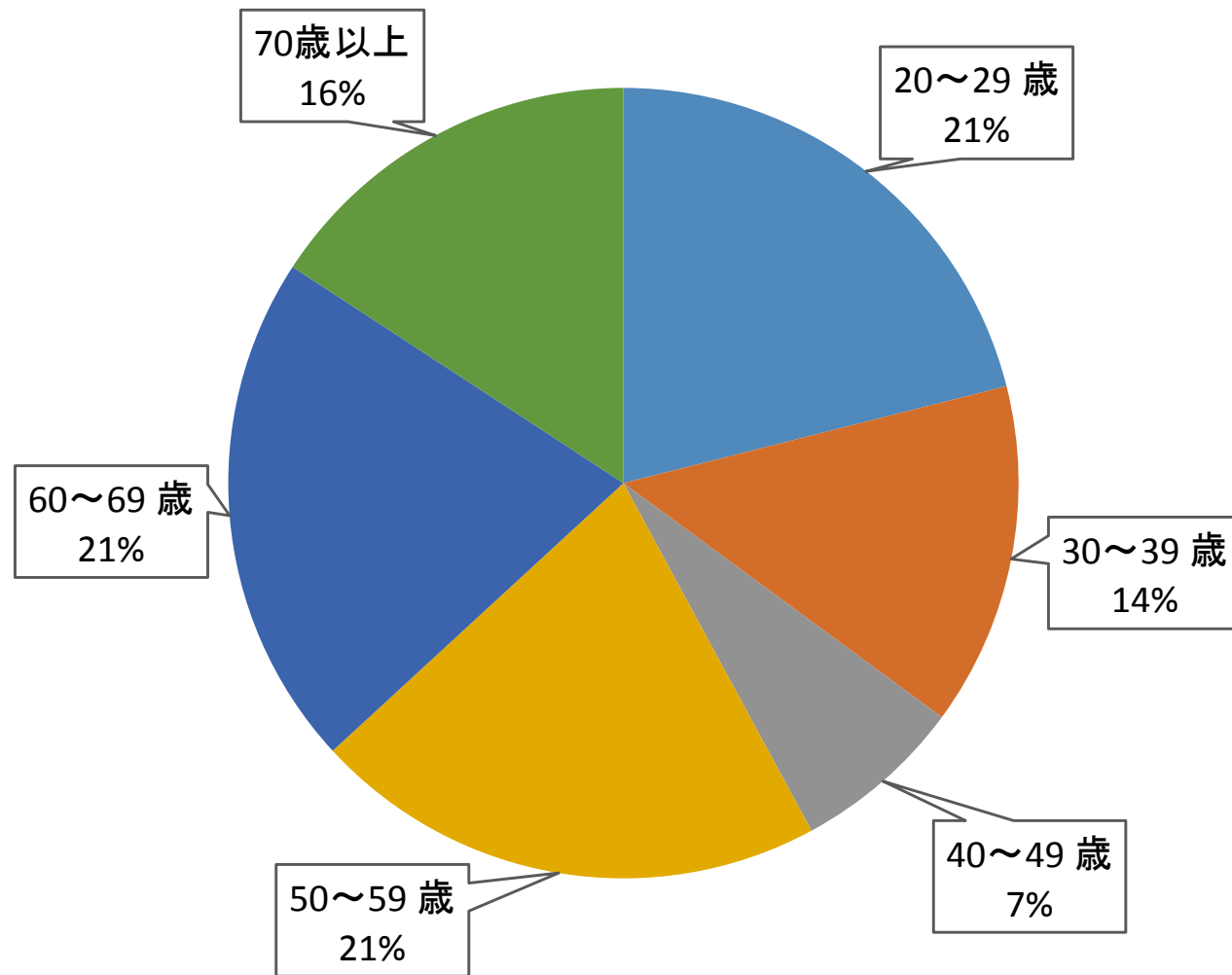
以上が仮説である。

アンケート回答者の属性

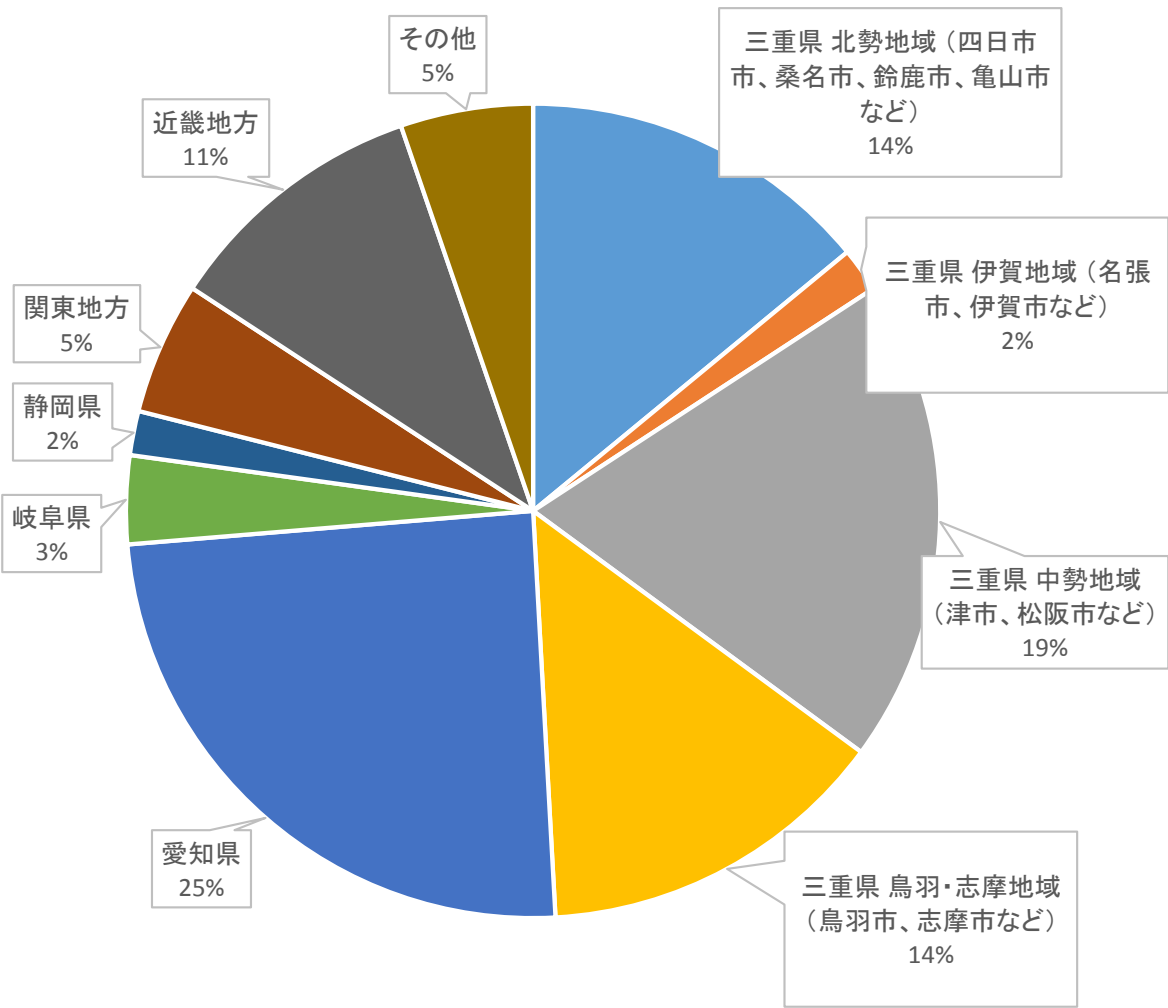
性別



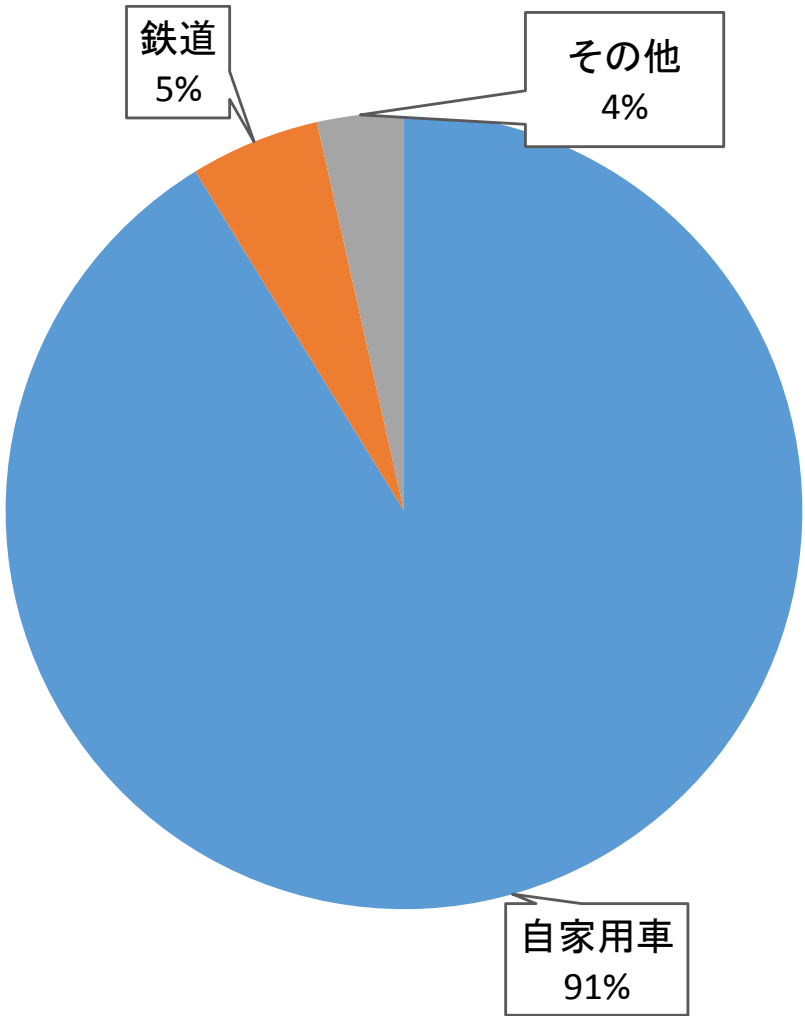
年齢



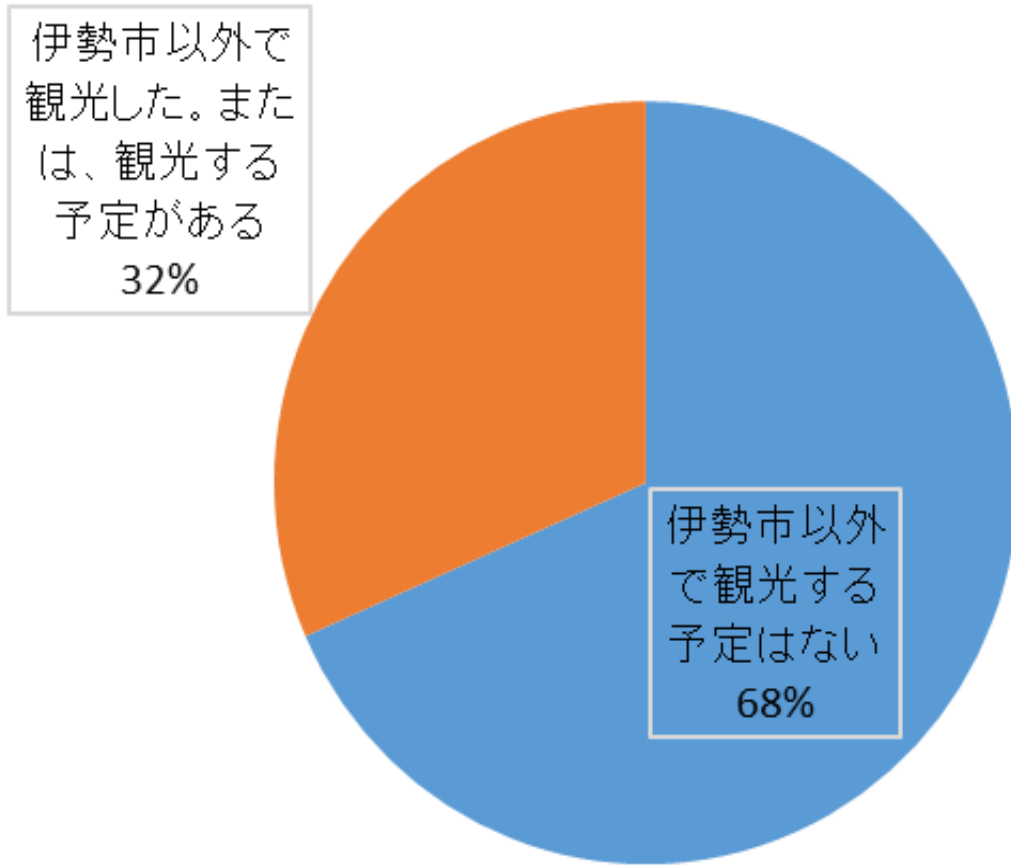
現在の住まい



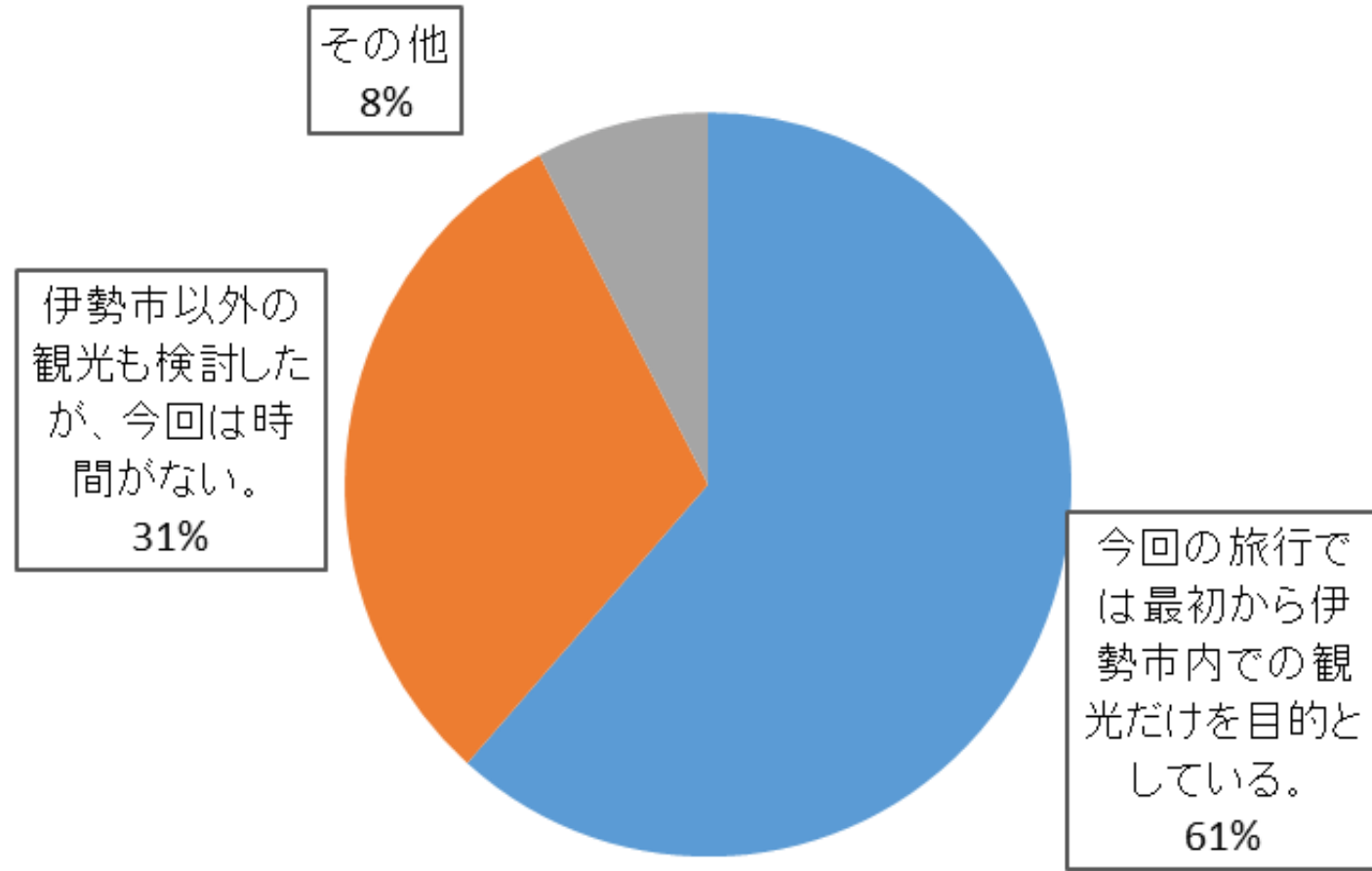
自宅から伊勢市までの 主な交通手段



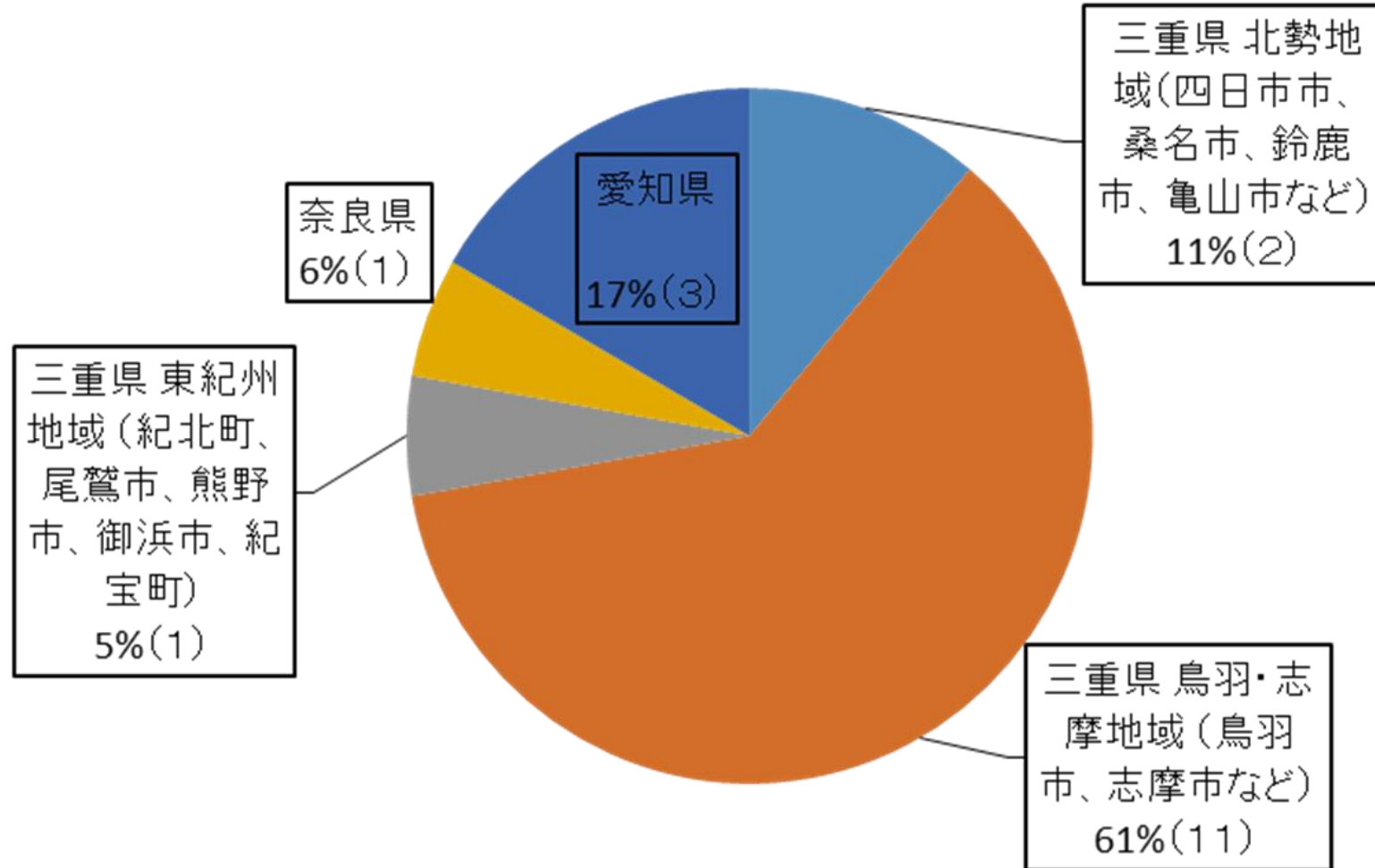
今回の旅行は 伊勢市だけですか



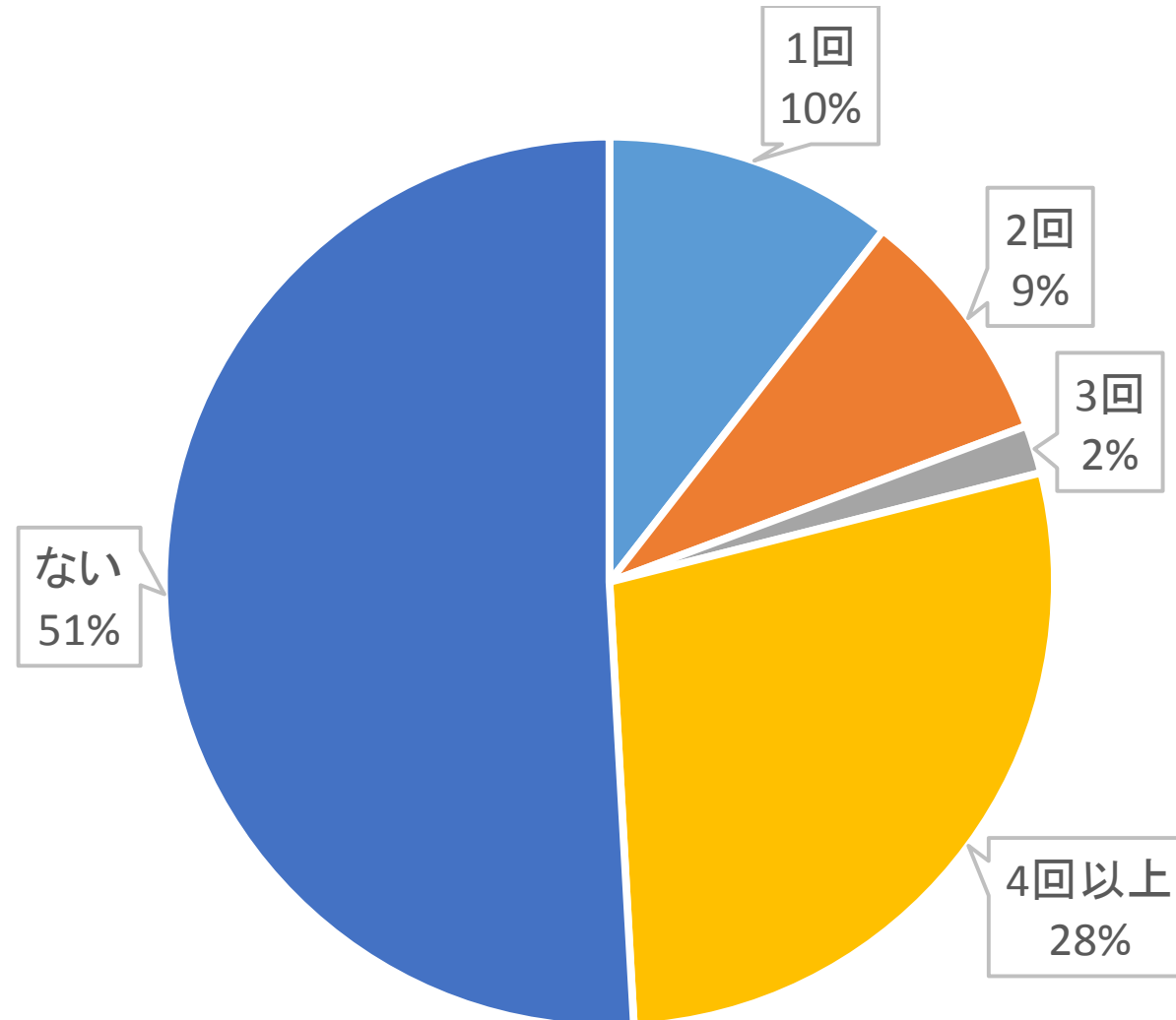
伊勢市以外で観光しない理由



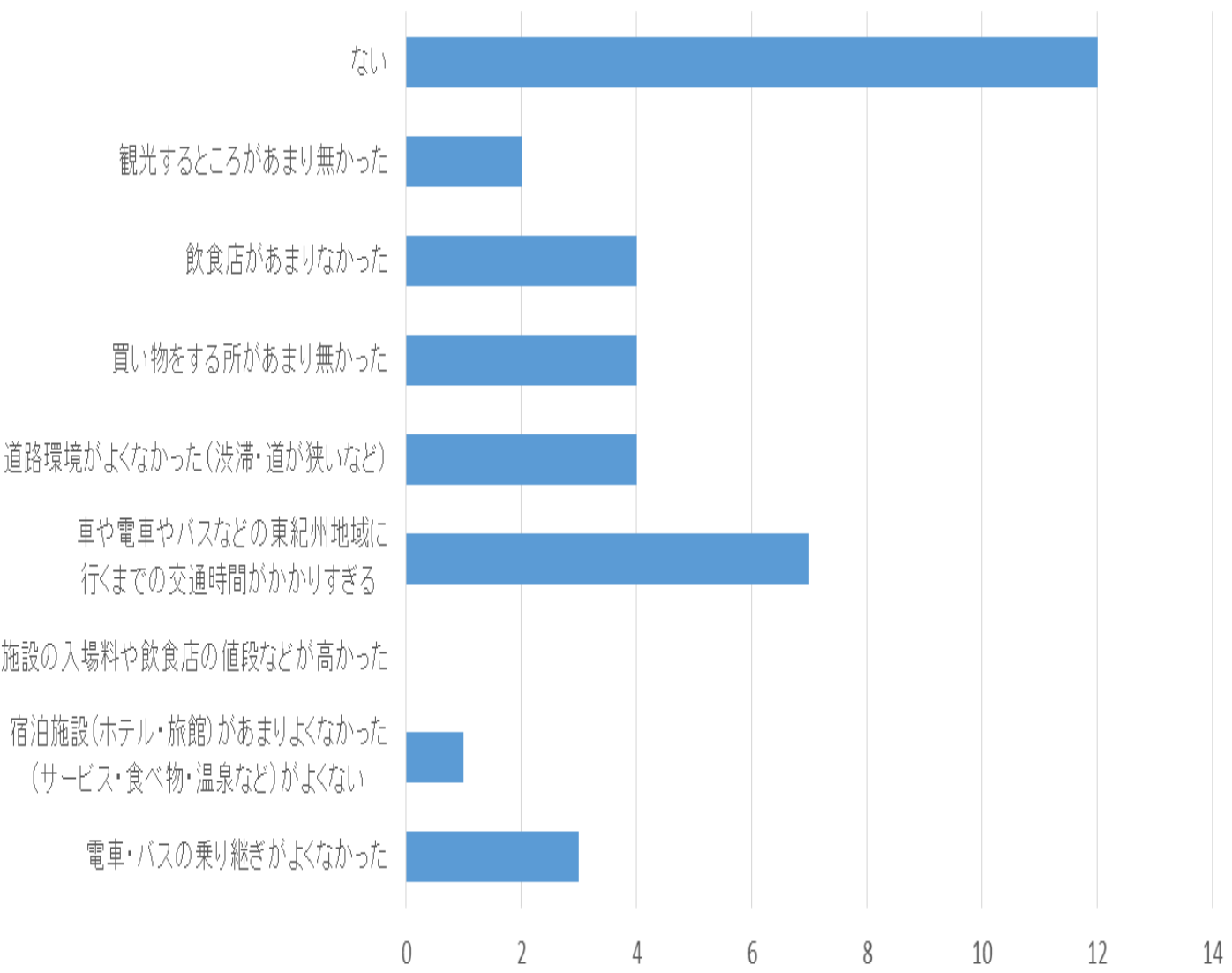
伊勢市以外での観光



東紀州地域への訪問回数



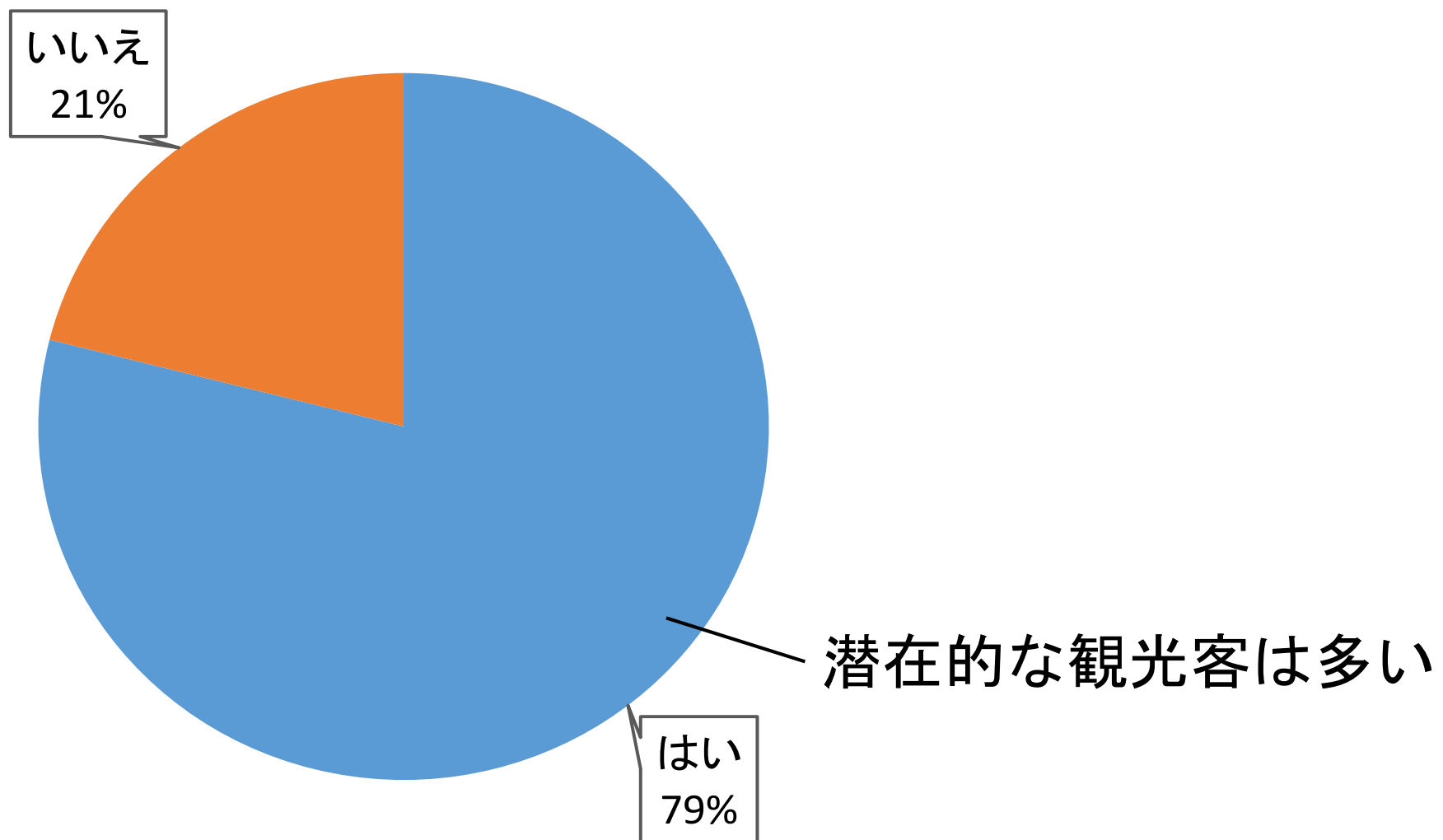
東紀州地域へ訪れた際の不満な点や不便な点がありましたか



- 約4割の人が満足していた。
→半数以上は不満な点や不便な点があった。
- 2012年に紀勢道尾鷲ICまで開通したことにより車での交通時間はかなり解消されたという意見がいくつかあった。
→バスも同様に解消されたのではないか。
- 観光するところ、飲食店、買い物する場所もあまりないという意見もいくつかあった
→PR不足なのでは？

**伊勢市への参拝・観光客は
東紀州地域にどの程度関心があるか**

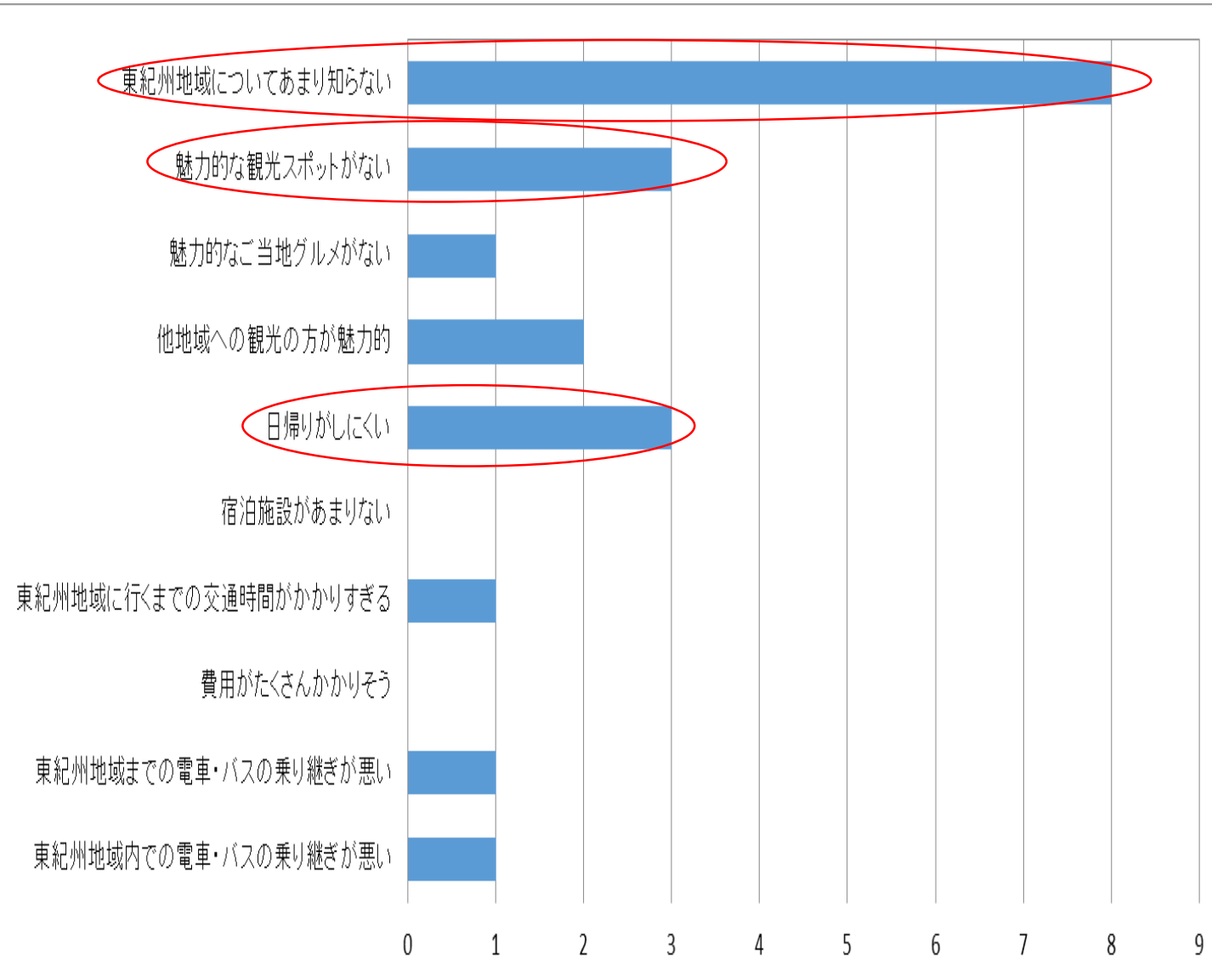
東紀州地域へ観光してみたいですか



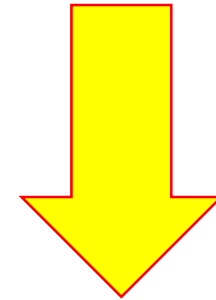
仮説の可能性

東紀州地域への関心が低い人（観光してみたくない人）の要因

東紀州地域へ観光したくない理由

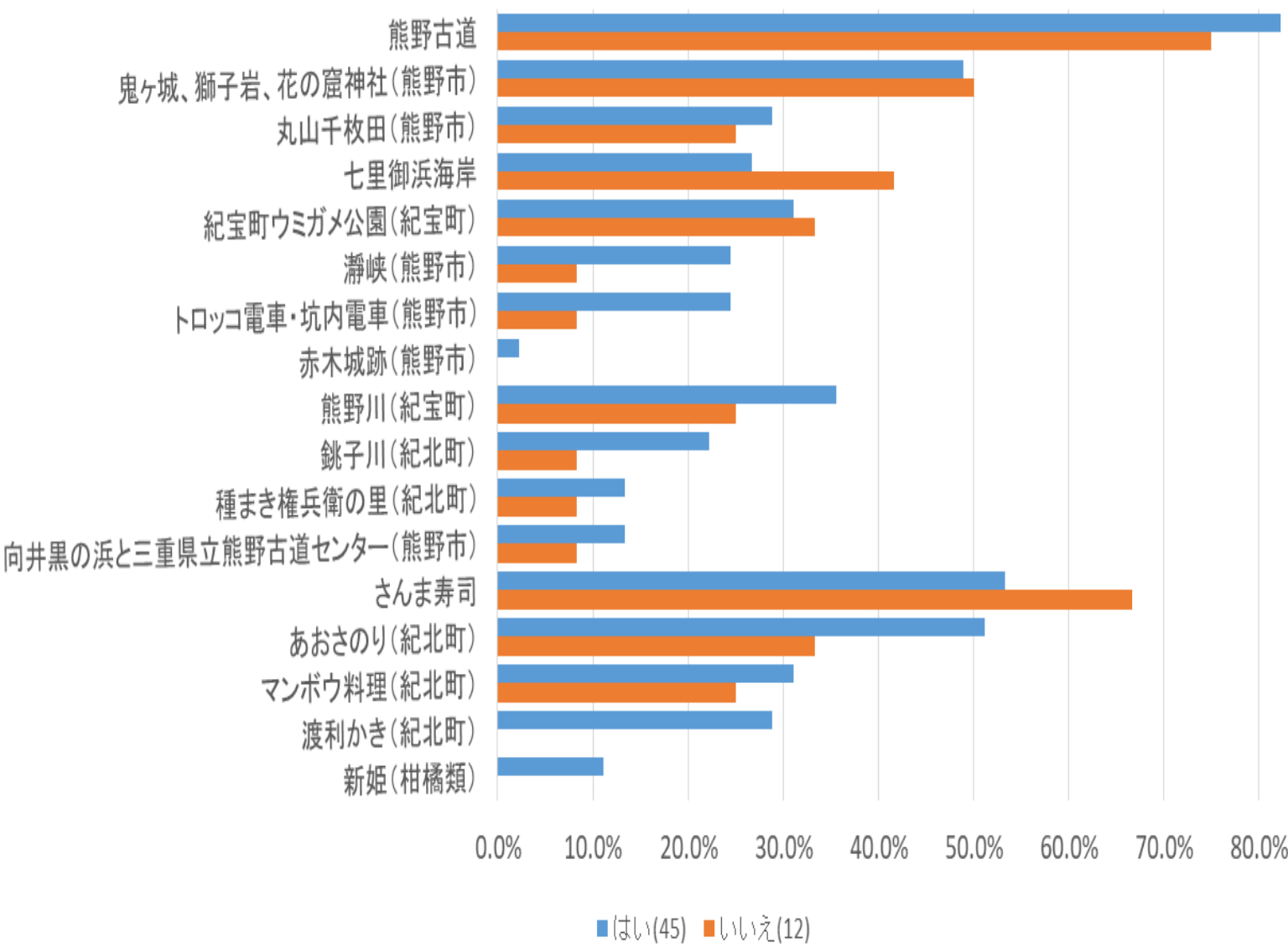


➤ 東紀州地域へ訪れたことがある人で東紀州地域へ観光したくない理由としては「東紀州地域についてあまり知らない」や「魅力的な観光スポット」がないという意見が多かった。

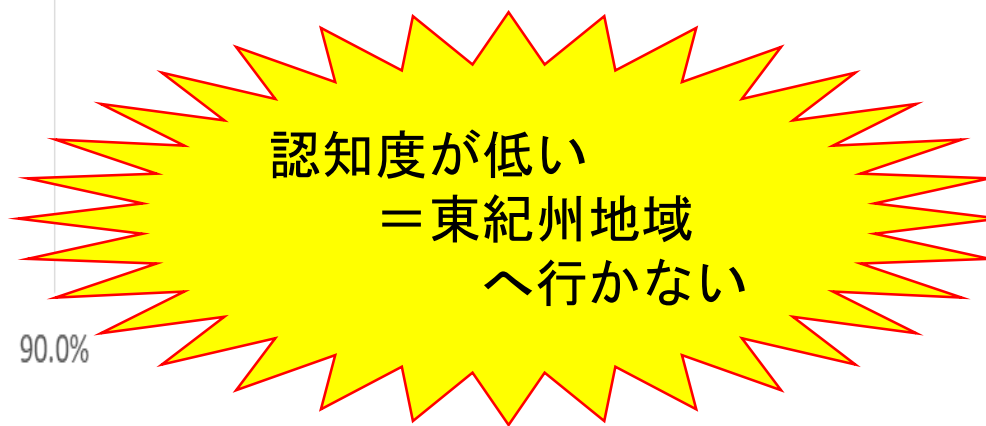
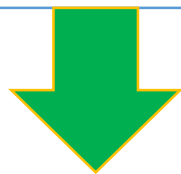


東紀州地域についてあまり知らない人が多いということはやはり観光客が増えない理由としては認知度が関係しているのか？

東紀州地域の観光名所・特産品で知っているもの

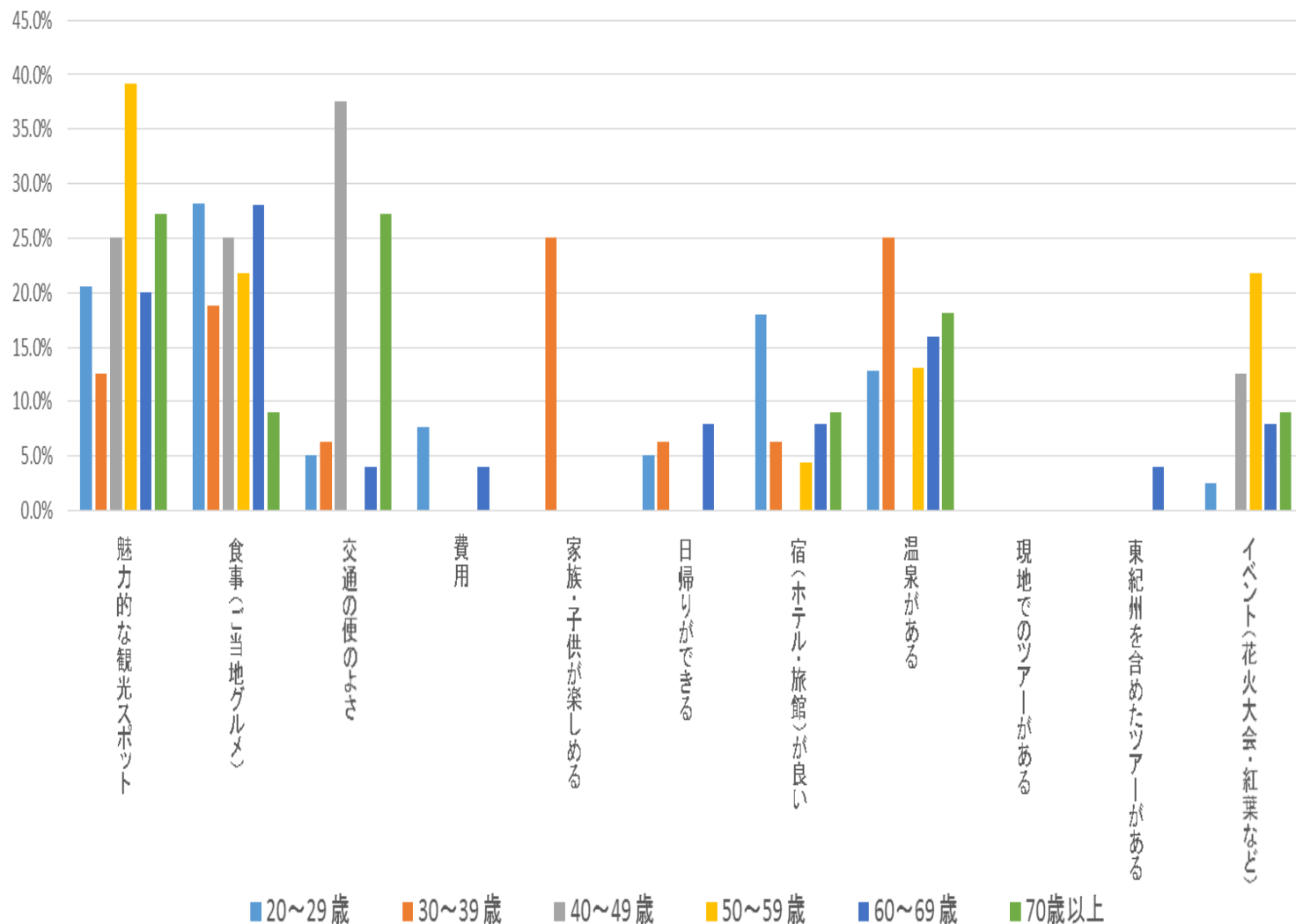


- 「いいえ」の人は東紀州地域へ関心がないので関心がある「はい」の人よりも関心が低い。
- 「はい」の人のほうが「いいえ」よりも知っているものが多い。



東紀州地域への効果的な誘客方法としては何か

東紀州地域を観光する際重視すること



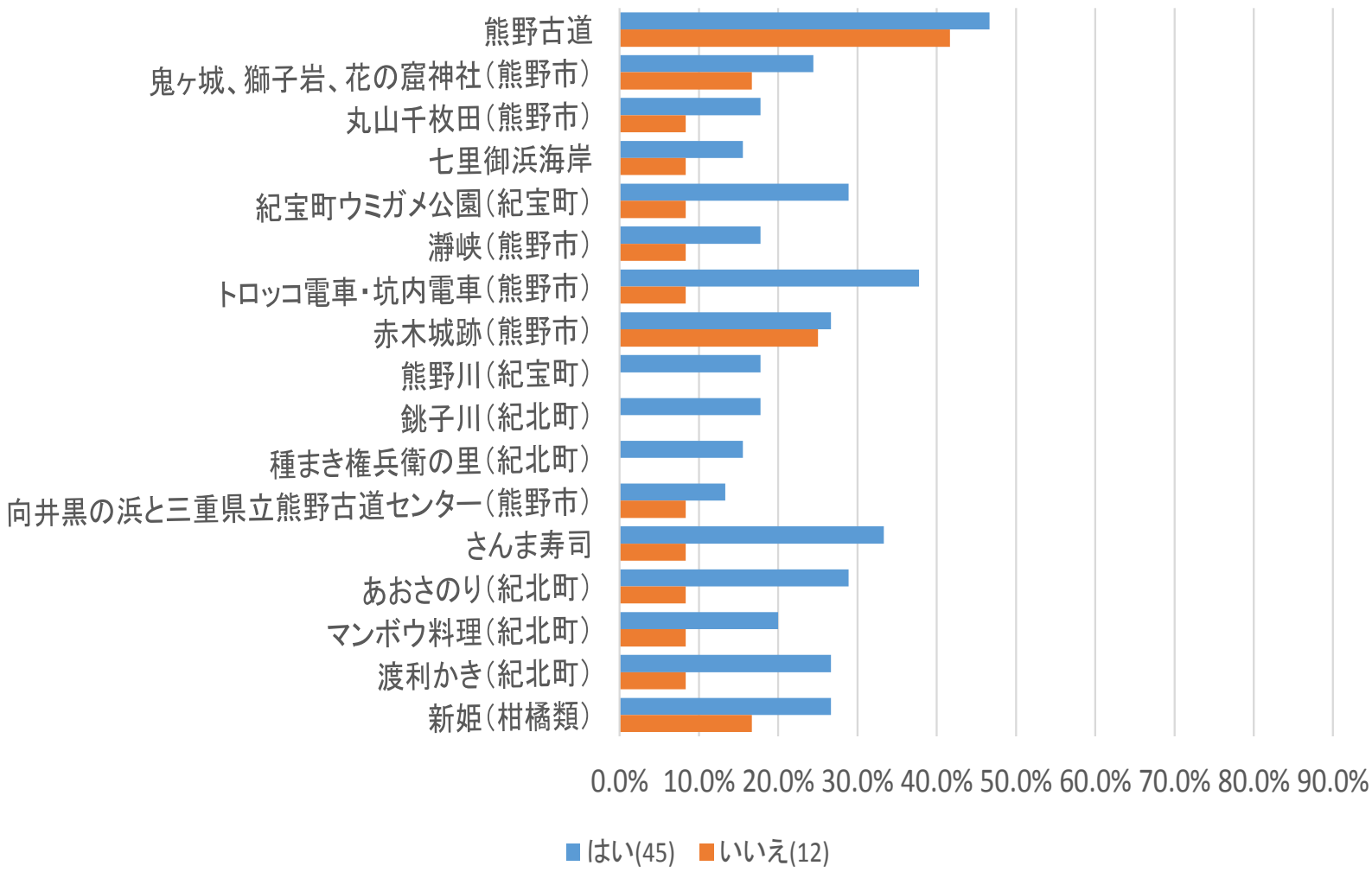
➤ 全体的に観光スポットや食事を重視する人が多い。

➤ 県外からは観光スポットや交通の便のよさ、食事を重視する人が多い。

➤ 家族で行くことや働いてる人が多いであろう40代では交通便の良さを特に重視している。

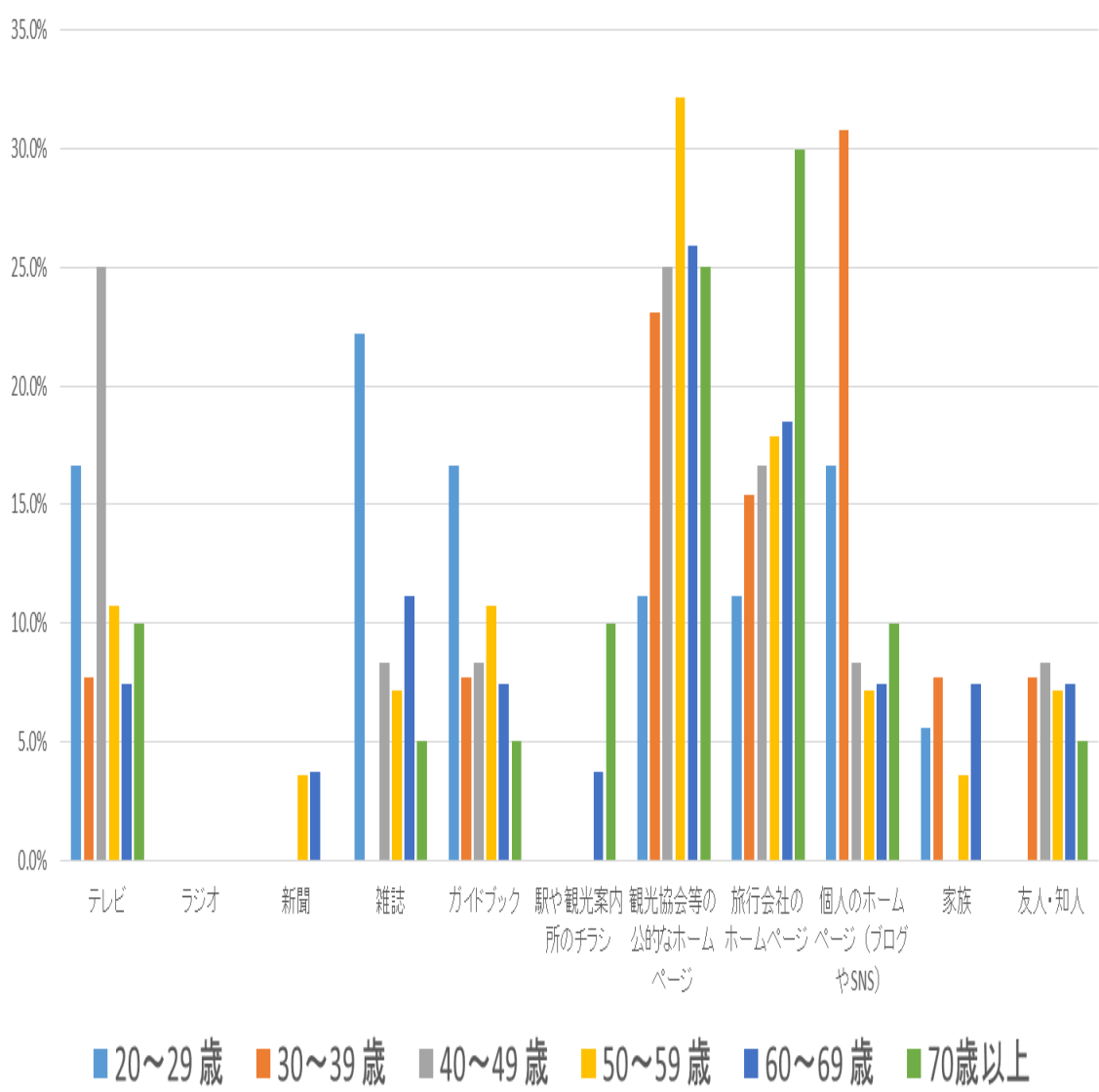
➤ 温泉やイベントなども多くはないが重視している人はいる。

東紀州地域の観光名所・特産品で関心のあるもの

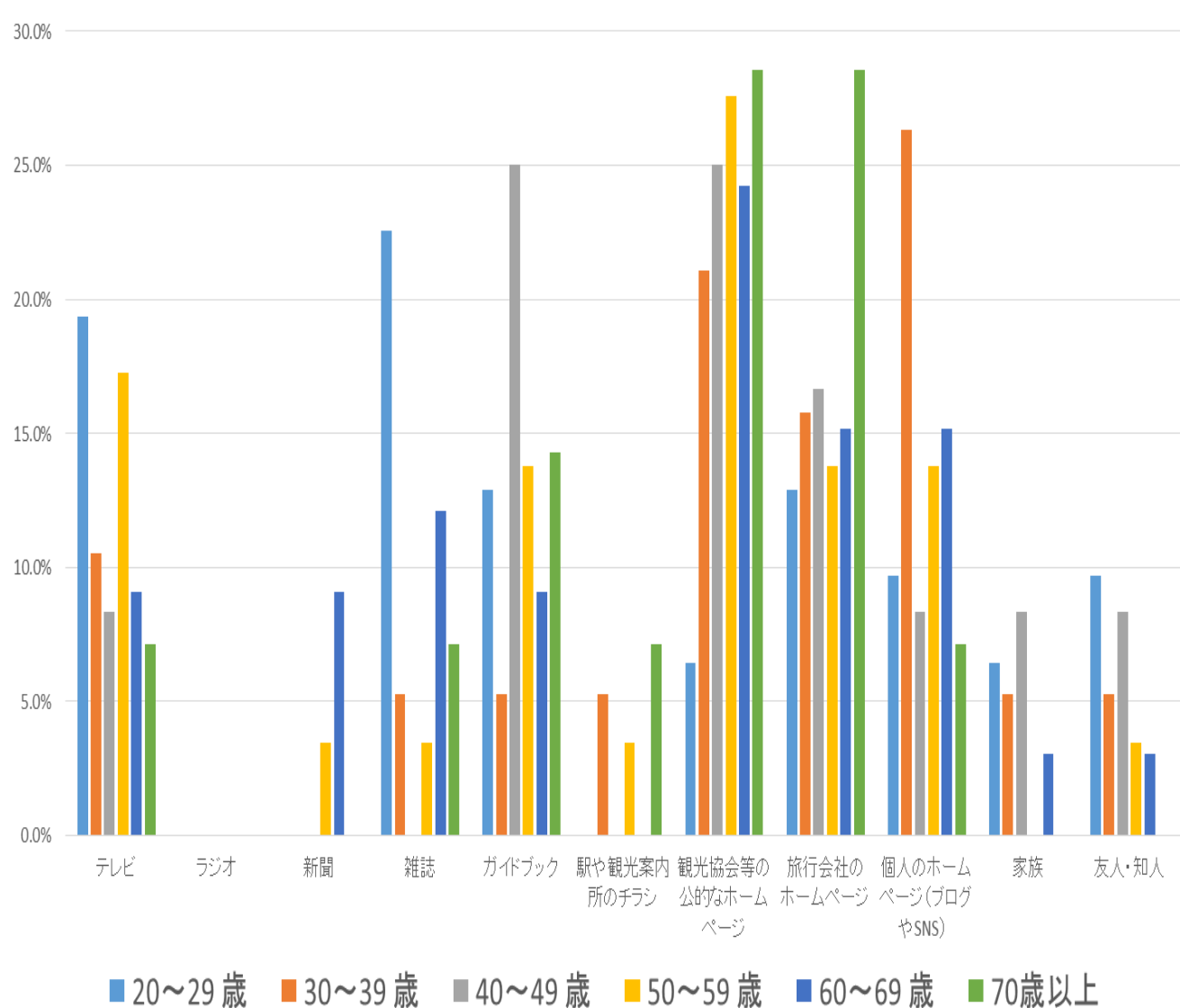


- やはり東紀州地域へ行きたい人は東紀州地域へ関心があるということなので「いいえ」の人よりも関心のあるものが多い。
- 紀宝町ウミガメ公園やトロッコ電車・坑内電車など体験やふれあいができるものは東紀州へ訪れてみたい人は関心が高い傾向がある。

観光する際の情報入手手段



東紀州地域へ観光する際の情報入手手段



1～3章まとめ

- 三重県南部は北部に比べて全体的に劣っている。
- 東紀州地域自体の知名度が低いため足を運ぶ人が少ない。
- 東紀州地域へ足を運ぶには時間がかかるため日帰りの旅行を選択する人には不便。
- 東紀州地域へ行ったことがある人は2回以上行っている人が多い。
- 情報入手手段としては年齢関係なくテレビや雑誌、ホームページやSNSなどが多い。

提言

- 年齢層に関係なく、「観光協会等のホームページ」や「旅行会社のホームページ」を充実させたほうが効果的。
- 特に、30代の人たちに向けては、「SNSやブログ等のネットを通じた個人の情報発信」が効果的。
- 40代の人に向けては、「ガイドブック」が効果的。
- 高速道路などを増やし、車で来る観光客の交通の便(所要時間や道路環境)を良くする。
- 40～80代に向けたイベントなどを開催する。

ご清聴ありがとうございました。